

2026年度

大阪樟蔭女子大学大学院
人間科学研究科修士課程

人間栄養学専攻

学生募集要項

長期履修制度・昼夜開講制度あり

目次

1. アドミッションポリシー	P.1
2. 募集人員	P.1
3. 出願資格	P.1
4. 選考方法	P.3
5. 合否発表	P.4
6. 出願手続	P.4
7. 出願資格認定に関する事前審査	P.5
8. 注意事項	P.7
9. 身体に障がいのある方の出願	P.7
10. インターネット出願	P.8
11. 入学検定料支払方法のご案内	P.9
12. インターネット合否速報サービス	P.10
13. 入学手続と納付金	P.11
14. 給付奨学金について	P.12
15. 長期履修制度について	P.12
16. 昼夜開講制度について	P.12
17. インフォメーション	P.13
18. 研究指導教員および事前相談先	P.14
19. カリキュラム（2026年度予定）	P.16
20. 授業科目とその講義等の概要	P.17

入試日程

選考区分	一般選考 社会人選考 外国人留学生選考	合否発表
I 期	2025年9月20日（土）	2025年9月26日（金）
II 期	2026年2月21日（土）	2026年2月27日（金）

1. アドミッションポリシー

人間栄養学専攻は、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる条件を備えた人を求める。

- ①専攻での学びを通じて、広い視野に立った学識ならびに専門的な技術を修得する意欲を有している。
- ②専攻の示す要件を満たしている。
- ③健康や栄養の課題に対して、多角的な視点から探究する意欲を持っている。
- ④健康と栄養のかかわりを通して、社会に貢献する強い意志を持っている。
- ⑤一定の基礎学力を有し、入学後の明確な目的意識を持っている。

2. 募集人員

修士課程（標準修業年限2年※）

研究科	専攻	募集人数
人間科学研究科	人間栄養学専攻	8名

※修業年限について：長期履修制度（最長4年）を設けています。（P.12参照）

※授業時間帯について：社会人が働きながら通学できるように、昼夜開講制度を設けています。（P.12参照）

3. 出願資格

【一般選考】

■次の各号の一つに該当する女性

- (1)大学を卒業した者および2026年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2)大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2026年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
 - (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (5)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- ※(6)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (7)文部科学大臣の指定した者

【社会人選考】

■次の各号の(1)～(7)の一つに該当する女性で、最終教育機関を修了後2年以上の社会人経験のある者で、かつ(8)か(9)のいずれかを満たす者

- (1)大学を卒業した者
- (2)大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者

- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- ※(6)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (7)文部科学大臣の指定した者
- (8)学校・官公庁・団体・企業等で、出願時までに2年以上の就業経験があり、2026年4月1日に満24歳以上の者
- (9)教育・福祉・宗教・国際協力・ボランティア・芸術文化・その他何らかの社会的実践活動を、出願時までに2年以上経験した者で、2026年4月1日に満24歳以上の者

【外国人留学生選考】

■日本以外の国籍を有し、次の各号の一つに該当する女性

- (1)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (2)日本において外国人留学生として日本の大学を卒業した者および2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (3)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- ※(5)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (6)文部科学大臣の指定した者

なお、志願者は「日本語能力試験N1」または「日本留学試験（EJU）」を受験していることが望ましい。

※「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等」が対象です。
これによって出願しようとする場合は、別途、**出願資格認定に関する事前審査**を行いません。
(P.5「出願資格認定に関する事前審査」参照)

4. 選考方法

筆記試験、面接および提出された出願書類の総合判定。

【試験日時】

選考区分	試験日	試験時間	
		筆記試験	面接
I 期	2025年9月20日（土）	10：00～13：00	14：00～（予定）
II 期	2026年2月21日（土）		

【試験科目・試験時間割】（I 期・II 期共通）

選考	試験科目 時間	筆記試験		面接
		専門科目	語学または小論文	
		10：00～11：30（90分）	12：00～13：00（60分）	14：00～ （予定）
一般選考	2科目選択		英語 ^{*1}	面接 ^{*2}
社会人選考			小論文	
外国人留学生選考			日本語 ^{*1}	

※1 語学の試験には、辞書の持込を認めます。（**電子辞書不可**）

※2 提出された研究計画概要（志望理由および入学後の研究計画）を中心に、この専攻で研究したいと考えていることについて詳しく伺います。

■専門科目の選択

下記7科目から、入学後研究指導を希望する担当教員の科目と他の1科目を選択し、計2科目を受験してください。

「栄養化学」「栄養教育学」「応用栄養学」「食品衛生・微生物学」「食品プロセス学」「臨床栄養管理学」「臨床栄養発育学」

※あらかじめ、受験しようとする2科目をインターネット出願時に選択してください。（出願後の変更は認めません。）

【試験会場】（I 期・II 期共通）

会場	所在地
大阪樟蔭女子大学 本学キャンパス	〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26 （近鉄奈良線「河内小阪駅」下車 西へ徒歩4分 JR おおさか東線「JR 河内永和駅」下車 東へ徒歩5分） TEL. 06-6723-8274（入試広報課）

5. 合否発表

- ・合否の判定結果は、合否発表日に受験者全員に郵送（普通郵便）し、本人宛に通知しますが、郵便事情により遅延が発生する場合があります。
- ・合否発表当日の10：00より、インターネット（スマートフォン・パソコン・携帯電話）による合否照会ができます。ただし、やむを得ぬトラブル等により遅れる場合がありますのでご了承ください。
※詳細はP.10をご覧ください。

選考区分	合否発表日
I 期	2025年9月26日（金）
II 期	2026年2月27日（金）

6. 出願手続

- (1)受験を希望される方は、2026年度学生募集要項および専攻案内リーフレットを参照すると共に、研究内容などに関して、入学後研究指導を希望する教員に以下の手順に従って必ず事前に相談をした上で出願してください。

《事前相談申込方法》

大阪樟蔭女子大学入試広報課に電話で出願期間開始日までに申し込んでください。
その際「大学院人間栄養学専攻の受験を希望している」旨をまず申し出てください。
[連絡先] 06-6723-8274（直通） [受付時間] 9：00～17：00（平日のみ）

- (2)提出先および問い合わせ先 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学 入試広報課
TEL. 06-6723-8274（直通） FAX. 06-6723-8268

- (3)入学検定料 30,000円（振込済の入学検定料は、いかなる場合も返還しません。）

- (4)出願登録期間・入学検定料払込期限

選考区分	出願登録期間	入学検定料払込期限
I 期	2025年8月18日（月）～ 9月12日（金）15：00まで	登録した翌日の23：59まで ●ただし、登録最終日は9月12日（金）16：00まで
II 期	2026年1月5日（月）～ 2月13日（金）15：00まで	登録した翌日の23：59まで ●ただし、登録最終日は2月13日（金）16：00まで

- (5)出願方法 出願書類等一式を市販のA4サイズが入る封筒に同封し、入試広報課に郵送（速達・簡易書留）してください。（出願登録最終日必着）

(6)提出書類等（**二ツ折厳禁**） ※出願の際に提出した書類は、いかなる場合も返却しません。

提出書類	備 考
① WEB 入学志願票	(出願登録完了後ダウンロード・写真1枚貼付)
②最終学歴の卒業（見込み）証明書	(出身大学等の所定用紙)
③最終学歴の成績証明書	(出身大学等の所定用紙) □大学院修了（または在学）者は、出身大学および大学院の成績証明書を提出すること。
④研究計画概要	(本学ホームページからダウンロード) □志望理由および入学後の研究計画
⑤受験承諾書	(本学ホームページからダウンロード) ※ 在職のまま入学を予定している社会人のみ提出
⑥研究業績・活動実績等一覧	※提出は任意。現物不要。(様式任意)
⑦管理栄養士免許または 栄養士免許の写し	※ 管理栄養士免許または栄養士免許を有する者のみ提出 ※ 栄養士免許取得見込み者は、栄養士免許取得見込証明書を提出
⑧出願資格認定証の写し（コピー）	※ 事前審査により出願資格を認められた者のみ提出
⑨長期履修申請書	※ 希望者のみ（P.12参照）

※ WEB 入学志願票の学歴欄は高等学校以上の学歴を記入してください。

※写真は、縦4cm×横3cm、上半身・正面・背景無地、出願前おおむね3ヶ月以内に撮影した写真。

裏面に氏名を記入し、WEB 入学志願票の所定の位置に貼付してください。

※外国人留学生として出願する場合は、入学検定料の納入及び日本語能力を証明する書類を出願締切日までに提出してください。提出書類については、事前に必ず相談してください。

受験票は、出願完了メールが到着後にダウンロードできます。

※出願完了メールが出願登録期間終了後2日経過しても届かない、または受験票がダウンロードできない場合は、入試広報課（TEL. 06-6723-8274）まで連絡してください。

7. 出願資格認定に関する事前審査 《出願資格※に該当する者のみ》

P.1～2の出願資格において※に該当する者については、事前審査を行いません。

次の手順に従って、申込手続をしてください。

(1)申込先および問い合わせ先 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26

大阪樟蔭女子大学 入試広報課

TEL. 06-6723-8274（直通） FAX. 06-6723-8268

上記の大阪樟蔭女子大学入試広報課宛に、**ファックス、ハガキ、電話**のいずれかで申し込んでください。事前審査に必要な書類等をお送りします。

※ **ファックス、ハガキの場合は、氏名（フリガナ）、郵便番号、住所、電話番号を明記してください。**

(2)事前審査申込期間・提出期間

選考区分	申込期間・提出期間
I 期	2025年8月8日(金)～2025年8月25日(月)
II 期	2025年12月16日(火)～2026年1月15日(木)

〔締切日必着〕

(3)提出方法 提出書類等を一括して封筒に入れ、「大学院事前審査書類在中」と明記し、郵送（**速達・簡易書留**）してください。

(4)提出書類等（**二ツ折厳禁**）※事前審査の際に提出した書類はいかなる場合も返却しません

提出書類	備考
①出願資格審査申請書	(本学所定用紙)
②履歴書	(様式任意)
③最終出身教育機関の卒業(修了・在学)証明書	(出身教育機関等の所定用紙)
④最終出身教育機関の成績証明書	
⑤最終出身教育機関の履修基準、授業科目表等	出身教育機関等の詳細がわかるもの
⑥研究業績・活動実績等一覧	※提出は任意。現物不要。(様式任意)
⑦管理栄養士免許または栄養士免許の写し	※管理栄養士免許または栄養士免許を有する者のみ提出 ※栄養士免許取得見込み者は、栄養士免許取得見込証明書を提出
⑧日本語能力試験証明書等	「日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書N1」のコピー、「日本語能力試験の成績通知書」のコピー、または「日本留学試験成績通知書」のコピー ※各試験を受験した者のみ提出してください。受験していない者は提出不要です。

(5)審査方法 書類および面接審査

(6)審査結果の通知 いずれも下記の日審査結果を本人宛に郵送(速達)します。

選考区分	審査結果通知日
I 期	2025年8月29日(金)
II 期	2026年1月20日(火)

(7)事前審査で出願資格の認定を受けた場合の出願時の手続きについて

・事前審査により出願資格が認定された者は、P.5 「(6)提出書類等」のうち、すでに提出済みの書類(②、③、⑥、⑦)以外の書類と、「⑧出願資格認定証の写し(コピー)」を提出してください。

8. 注意事項

【出願時の注意】

1. 本学ではすべての入試においてインターネット出願を採用しています。詳しくはP.8をご覧ください。
2. 提出書類は指定がある場合、本学所定の用紙を使用してください。
3. 黒のボールペンで記入してください。文字は楷書、数字は算用数字で、必要事項を正確に記入してください。誤記を訂正する場合は修正液等を使用せず、訂正した箇所に訂正印を押してください。
4. 詳しいお支払い方法については、インターネット出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。

【入学試験前の注意事項】

1. 発熱・咳などの症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診し、医師などの指示に従ってください。
2. 学校感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹等）に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない、または罹患のおそれがある方は、感染拡大防止の観点から受験できません。該当する受験生は、入学試験当日までに本学入試広報課までご連絡ください。詳しくは本学受験生応援サイトをご覧ください。なお連絡なく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います。

【受験にあたっての注意】

1. 入学検定料支払後の出願登録内容の変更はできません。
2. 試験会場内の下見はできません。学校見学をご希望される場合は、事前にご連絡ください。
3. 試験会場等、受験に関する注意事項は、当日受付で配付します。
4. 受験票は、ダウンロードし印刷して試験当日に必ず持参してください。
受験票を忘れた場合は、受付に申し出てください。
5. HB・Bの鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムを持参してください。
6. 試験場の受付は試験開始の1時間前です。**試験開始15分前**までに受付を済ませ、指定された試験会場で、各自の受験番号の席に着席して指示を待ってください。
7. 試験開始後30分以上経過した場合の遅刻は認めません。（面接試験の遅刻は一切認めません）
8. 試験時間中の退出は認めません。
9. 試験は厳正に行い、万一不正行為があったと認められた者は不合格となります。
10. 試験会場に時計はありません。各自で用意してください。
11. スマートフォン・スマートウォッチ・携帯電話などの通信機器は、試験室での使用を禁止します。
12. 計算機（時計などと併用するものを含む）等の使用はできません。
13. 試験当日の昼食は、各自で用意してください。（学内の食堂・売店は営業しません）
14. 入学試験に係る注意事項についてを必ず確認してください。

【その他】

本大学院では、栄養士の免許は取得できません。

9. 身体に障がいのある方の出願

入学試験時および入学後に特別な配慮を必要とされる場合は、必ず出願登録前に入試広報課 (TEL. 06-6723-8274) にご相談ください。

10. インターネット出願

ご利用にあたって、パソコンまたはスマートフォン・メールアドレス・プリンターが必要です。

インターネット出願ページでアカウント登録

出願登録期間外でも
アカウント登録は可能です。

初めて出願する際はまずアカウント新規登録を行う必要があります。この登録が完了しないと、出願登録に進むことができません。「マイページ」登録にはメールアドレスが必要です。

- ① 本学「受験生応援サイト」内の「WEB出願」をクリック
- ② WEB出願サイトにアクセス
- ③ ログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック
- ④ 利用規約に同意した後メールアドレス・パスワードなど必要項目を入力して「登録」ボタンをクリック
- ⑤ 入力したメールアドレス宛てに仮登録メールが届く
- ⑥ 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了
- ⑦ 登録したメールアドレスに認証コードが届くので入力してログイン

※仮登録メールや認証コード
が届かない場合は、迷惑メール
に分類されている
場合があります。

出願登録(出願開始日の0:00~出願期間最終日の15:00)

- ① 出願サイトにログイン
- ② 大阪樟蔭女子大学『【はじめて】出願登録*』から必要項目を入力

※2回目以降の出願をされる方は、『【2回目以降】出願登録/出願確認』から必要項目を入力してください。

入試制度の選択 ▶ 志望専攻の選択 ▶ 志願者情報の入力 ▶ 支払いに利用するコンビニを選択

コンビニで入学検定料の支払い

出願登録で選択したコンビニで入学検定料を納入してください。

詳しいお支払い方法については、インターネット出願画面を参照してください。入学検定料支払い後に出願登録内容の変更は一切できませんので注意してください。

LAWSON  FamilyMart Seicomart  

●入学検定料の他に別途、払込手数料が必要です。●お支払金額が5万円以上の場合、別途事務手数料が必要です。●一度納入した入学検定料は、理由の如何にかかわらず返金しません。●入学検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

出願書類を郵送 出願登録期間の最終日必着(消印有効ではありません)

- ① 出願サイトにログイン
「出願内容一覧」の「出願内容を確認」ボタンからWEB入学志願票、封筒貼付用宛名シートをダウンロード。拡大縮小せずにA4サイズで印刷してください。

- ② 必要書類を揃え、市販の封筒に封入して郵送

●消印有効ではありません。
出願登録期間最終日に本学に書類が到着するように、簡易書留・速達でお送りください。(締切日必着)



キャンパスの窓口でも出願を受け付けます。

■入試広報課

本学キャンパス

TEL.06-6723-8274に事前連絡のうえお越しください

<受付時間>10:00~17:00

※日・祝および夏期・冬期休暇を除く

注意!

- 出願内容の登録完了後の変更は一切できません。
- 入学検定料の支払い前に誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに新たに登録を行ってください。(入学検定料を納入していない登録内容は自動で無効となります)

インターネット環境がない方はTEL.06-6723-8274<入試広報課>までご連絡ください。

出願期間中に 出願書類を 持参する場合

キャンパス窓口で出願を受け付けます。

(出願する大学院人間科学研究科・専攻にかかわらず受け付けます)

■入試広報課(本学キャンパス、TEL.06-6723-8274に事前連絡のうえお越しください)

<受付時間>10:00~17:00 ※土・日・祝および夏期・冬期休暇を除く

12. インターネット合否速報サービス

- ・合否の判定結果は、合否発表日に受験者全員に郵送（普通郵便）し、本人宛に通知しますが、郵便事情により遅延が発生する場合があります。
- ・照会が可能となるのは、いずれも合否発表日の10：00からです。照会可能期間は次の通りです。

選考区分	合否発表日	照会可能期間
I 期	2025年9月26日（金）	2025年9月26日（金）10：00から 2025年9月29日（月）24：00まで
II 期	2026年2月27日（金）	2026年2月27日（金）10：00から 2026年3月2日（月）24：00まで

スマートフォン・携帯電話およびパソコンで合否の確認ができます。

●合否速報サービス利用上の注意

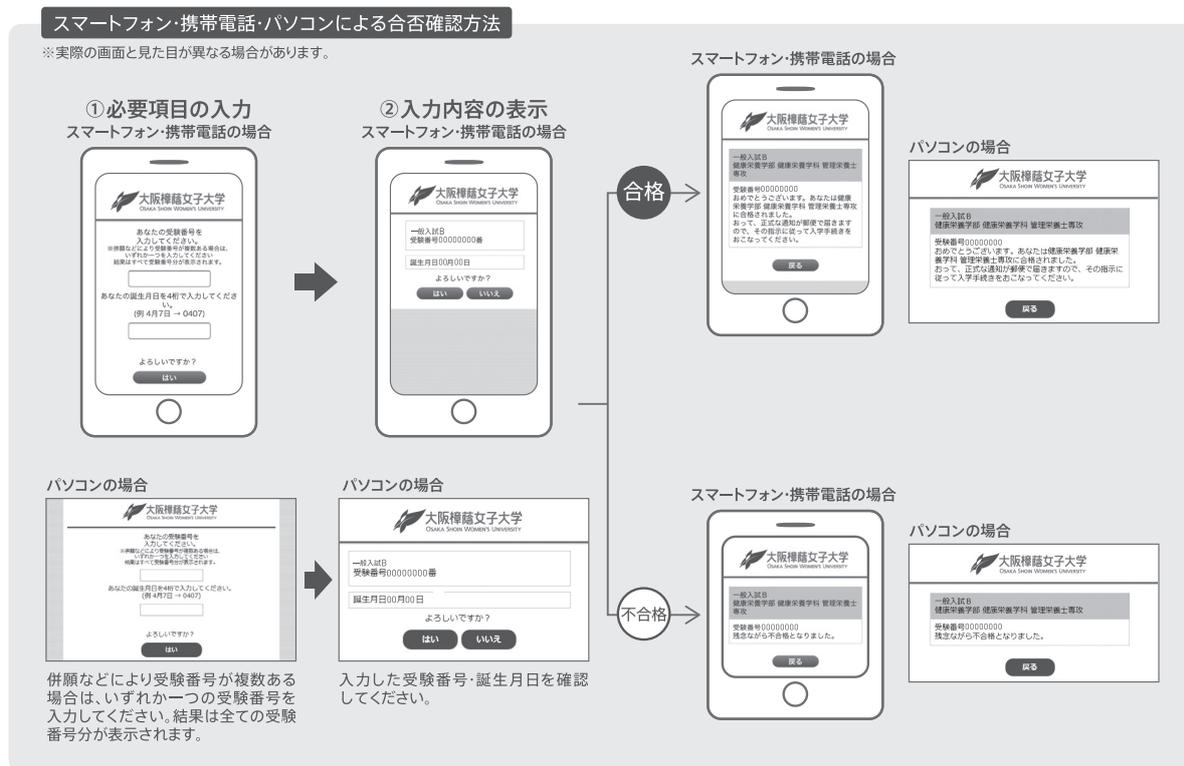
- ・当サービスでの発表は速報であり、正式な合否は大学から郵送される書類にて確認してください。
- ・当サービスの「誤操作」「見間違い」等を理由とした、入学手続きの遅れは認められません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。
- ・スマートフォン以外の携帯電話は一部機種で表示されない場合があります。
- ・機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。
- ・試験会場の外で合否発表に関する案内を本学教職員が行うことはありません。類似のサービスにはご注意ください。

※期間外は見ることができません。

合否の確認方法

以下のURLまたは携帯電話用二次元バーコードからアクセスしてください。

<https://www.postanet.jp/gouhi/012211/>



1.3. 入学手続と納付金

【入学手続】

- ・合格者は、合格通知とともに郵送する「入学手続き要項（ご案内）」に従って、入学手続を完了してください。
- ・「入学金」および「1年次春期分納付金」をそれぞれの手続期限までに納入してください。入学後に必要な納付金は下記のとおりです。

選考区分	入学手続締切日	
	第1次手続	第2次手続
I 期	2025年10月10日（金）	2025年10月31日（金）
II 期	2026年3月13日（金）	2026年3月19日（木）

【納付金】（標準修業年限2年で受講の場合）

人間栄養学専攻 (2026年度予定)		1年次春期	1年次秋期
授業料		300,000円	300,000円
施設・設備費		70,000円	70,000円
諸 費	後援会費	6,000円	6,000円
	学友会費	3,000円	3,000円
	同窓会費※1	10,000円	入学時のみ納入
	学研災・学研賠償保険料※3	2,080円	
合計		391,080円	379,000円
入学金※2		280,000円	
1年次納付金合計		1,050,080円	
入学時に必要な金額		671,080円	
内 訳	1次手続金	280,000円	
	2次手続金	391,080円	
2年次以降に必要な金額		758,000円	

※1 同窓会費は、入学時の春期のみ納付となり、中途退学の際には全額返金します。

(樟蔭高校卒業生および大阪樟蔭女子大学出身者は不要)

※2 大阪樟蔭女子大学卒業後、本学大学院に入学する者は、入学金を半額（140,000円）とします。

※3 学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料は2025年度実績です。

●学外実習費などは別途徴収します。

14. 給付奨学金について

本大学院は熱意ある学生の研究活動を支援するため、独自の給付奨学金制度を設けています。推薦制と公募制があり、給付額はともに授業料半額相当です。詳しくは本学ホームページをご覧くださいか、**キャンパスライフサポート (TEL. 06-6723-8279)** までお問い合わせください。

15. 長期履修制度について

長期履修制度は、就業、介護、育児などの事情により、本学修士課程における教育・研究に専念することができない方に配慮した制度です。

この制度を活用した場合、通常の年限（2年）の授業料で3年から4年にわたって大学院の授業を履修することができます。また、標準修業年限2年の場合に支払うべき授業料等総額を在籍年数に合わせて「分割納入」することになりますので、年間の学費負担を軽減することができます。長期履修制度については、出願時に申請していただきます。詳しくは、**入試広報課 (TEL. 06-6723-8274)** までお問合せください。別途、資料をお送りします。

16. 昼夜開講制度について

昼夜開講制度は、社会人が働きながら無理なく通学できることを最優先に考え、授業時間帯を平日の夕方以降や土曜日の昼間を中心に配置しています。一部の科目については土日や長期休暇期間などを利用した集中講義形式で授業を展開します。詳しくは、**入試広報課 (TEL. 06-6723-8274)** までお問い合わせください。

※本専攻では、6講時：18：20～19：50を中心に授業を開講します。一部科目は、7講時：20：00～21：30またはオンデマンド開講。土曜日は昼間開講となります。

17. インフォメーション

【入学許可の取り消しについて】

- ・所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を許可しません。
- ・出願書類および入学手続書類に虚偽の申請があると判明した場合は、入学の許可を取り消します。

【納付金返還制度（入学金を除く諸費の返還について）】

既納の納付金は理由の如何を問わず返還しません。ただし、入学手続完了後、何らかの理由で本学への入学を取りやめた者を対象に、入学金以外の納付金（一部諸費）を返還する『納付金（一部諸費）返還制度』を設けています。返還を希望する者は、2026年3月31日（火）[当日消印有効]までに「入学辞退届・入学手続時納付金返還願」（合格通知書に同封）を提出してください。

【個人情報の保護について】

大阪樟蔭女子大学大学院では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、出願に際して志願者から提供された個人情報については、安全管理のために必要な措置を講じています。提供された個人情報は、入学選考の際の連絡や合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。また、入試統計資料の作成のため、個人を特定しない形で利用することがあります。

入学後は、入学者データとして、氏名・住所・電話番号および保証人の氏名・住所・電話番号について、次の団体が本学と共同して利用させていただきます。この場合、会員への案内・機関紙発送等を目的とするもので、これらの関係団体も、個人情報の安全管理については大阪樟蔭女子大学大学院と同様の安全管理措置を講じています。

●大阪樟蔭女子大学大学院と合格者の個人情報を共同して利用する団体

同窓会	後援会	大学生協（任意）	樟蔭エンタープライズ
卒業生の親睦団体であり、卒業と同時に会員となっていただきます。	保護者・保証人で構成される後援組織であり、保護者・保証人の方々にご加入いただいております。	営利を目的とせず、組合員の大学での生活向上のため運営されており、入学者は組合員となっております。	学校法人樟蔭学園が100%出資して設立された会社です。学生総合保障制度等のご案内をさせていただきます。

【寄付金について】

本学では教育研究条件の設備充実のために、寄付金を募集しております。ただし、すべて任意で入学前には募集いたしておりません。詳細につきましては、入学後あらためてご案内申し上げます。

18. 研究指導教員および事前相談先

受験希望の方は、次の【表1】の「研究指導内容」を参考に、ご自身の希望する研究内容を決めた後、研究内容の確認のため、「担当者」欄の教員に事前連絡をしてください。(連絡先:P.15参照)
また、試験科目のうち、専門科目における出題分野および担当者は、P.15【表2】のとおりです。

【表1】研究演習科目における各教員の研究指導内容

科目区分	授業科目名	概要
研究演習科目	人間栄養特殊研究	研究指導スケジュールに従って、修士論文作成に係わる研究指導を行なう。具体的には、(1)テーマの設定 (2)文献調査によるテーマ周辺の情報収集 (3)研究方法の決定 (4)研究の実施 (5)得られた結果の解析と考察 (6)修士論文作成 (7)修士論文発表、である。これらの取り組みを通じて、人間栄養学関連分野の研究遂行能力の育成をはかる。
栄養分野		
	担当者	研究指導内容
	木村雅浩教授	定期健康診断における有所見率は年々上昇しており、50%を超えている。このうち約6割を血中脂質検査(LDLコレステロール、HDLコレステロール、血清トリグリセリド)が占めている。そこで、栄養化学研究室では、血清脂質改善効果(総コレステロール、LDLコレステロール低下作用、HDLコレステロール上昇作用)が期待できる食品成分について研究している。
	鈴木朋子教授	「健康教育・ヘルスプロモーションに関する実践的研究」 食行動をはじめとした人々の健康行動は、日常生活の繰り返しのなかで習慣化される。疾病の一次・二次予防を促進するには、人々が健康的な生活習慣を実践し、不健康な習慣を健康的な方向へと修正する必要がある。管理栄養士や栄養教諭などの専門職は、健康行動の獲得や行動変容支援の担い手として期待されている。このような視点から、対象者に適した健康支援のあり方や方法について、健康教育・ヘルスプロモーションの理論を基礎に研究を行う。
	角谷雄哉准教授	競技力向上や健康の保持・増進を目指して、競技選手を含めた身体活動が活発な者の食・栄養を栄養疫学・行動栄養学の視点で探究します。研究の対象とする事象は、食品や栄養素の摂取を含めた、食品が体内に取り込まれるまでの事象です。具体的には、スポーツアニメに登場する食品などの「食・栄養に関するコミュニケーション」、購入可能なサプリメントの栄養成分組成などの「食環境」、使用するサプリメントをどのような基準で選んだかなどの「食意識・食態度」、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度などの「食行動」です。

保健・医療分野	
担当者	研究指導内容
井 尻 吉 信 教授	生活習慣病はもとより、フレイル・サルコペニアなどの加齢性疾患に対する管理栄養士の役割が注目されている。本研究室では上記疾患に対する栄養食事指導をクリニック（内科、整形外科、歯科など）に普及させていくことを目指した調査・介入研究を行っている。
三 善 陽 子 教授	近年、我々を取り巻く生活環境は急激に変化している。適切な栄養摂取が小児の健康な成長発育に欠かせないが、生活習慣の変化や食生活の乱れにより様々な健康問題が生じている。小児期の食習慣は成人後の食生活にも影響を与える。本研究室では、幼稚園児の健康と食生活、女子大生の栄養・代謝状態に関する調査、小児・思春期若年成人（AYA）世代がん患者の栄養管理などの臨床研究に取り組んでいる。

食品分野	
担当者	研究指導内容
一 條 知 昭 教授	「ヒトが健康で安全に、安心して生活できる基盤を確保する」をテーマとして、ヒトと微生物、そして食に関係する環境との関係を考究する。食の安全・安心を保証するためには、「農場から食卓まで（Farm to the table）」の各段階において、適切な衛生微生物学的評価が重要である。しかし、現在広く用いられている培養を基本とした微生物検出法では、評価にあたって克服すべき課題がある。そこで、食品分野における新たな微生物管理手法として、培養に依存しない微生物迅速試験法の可能性について検討を進める。
稲 垣 秀 一 郎 准教授	加工食品の一種である発酵食品は、製造に用いられる発酵微生物の影響を受けて大規模な成分変化が生じ、原材料にはない性質が付与されている。近年注目されている発酵食品の健康機能も、微生物による発酵の恩恵を受けたものである。本研究室では、発酵食品の機能性に焦点をあて、機能性付与のメカニズムと発酵による成分変化との関連性を解き明かすことを目的に研究を行っている。また、このような基礎的な研究成果から、機能性に着目した新たな発酵食品や機能性食品の開発を目指している。

【表2】専門科目および出題担当者

出題科目の分野	担 当 者
栄 養 化 学	木村 雅浩 教授
栄 養 教 育 学	鈴木 朋子 教授
応 用 栄 養 学	角谷 雄哉 准教授
食品衛生・微生物学	一條 知昭 教授
食 品 プ ロ セ ス 学	稲垣秀一郎 准教授
臨 床 栄 養 管 理 学	井尻 吉信 教授
臨 床 栄 養 発 育 学	三善 陽子 教授

【事前相談先】

<p>大阪樟蔭女子大学（大学院） 入試広報課 TEL. 06-6723-8274 受付時間：9：00～17：00（平日のみ）</p>
--

※出願登録開始日までに申し込んでください。
その際、人間栄養学専攻受験希望の旨、
電話対応者にお伝えください

19. カリキュラム（2026年度予定）

【人間科学研究科人間栄養学専攻（修士課程）】

科目区分	開設予定科目	配当学年	必修・選択必修	授業方法	単位
共通科目	人間科学研究方法論	1	必修	A	2単位
研究基礎科目	人間栄養学研究	1	必修	A	2単位
研究展開科目	基礎医学研究	1・2	選必	A	2単位
	栄養化学研究	1・2	選必	A	2単位
	運動生理学研究	1・2	選必	A	2単位
	食品化学研究	1・2	選必	A	2単位
	調理科学研究	1・2	選必	A	2単位
	食品プロセス学研究	1・2	選必	A	2単位
	食品衛生・微生物学研究	1・2	選必	A	2単位
	臨床栄養発育学研究	1・2	選必	A	2単位
	病態栄養学研究	1・2	選必	A	2単位
	応用栄養学研究	1・2	選必	A	2単位
	栄養マネジメント学研究	1・2	選必	A	2単位
	栄養教育学研究	1・2	選必	A	2単位
	公衆栄養学研究	1・2	選必	A	2単位
	公衆衛生学研究	1・2	選必	A	2単位
	給食経営管理学研究	1・2	選必	A	2単位
臨床栄養管理学研究	1・2	選必	A	2単位	
研究実習科目	人間栄養実践研究	1・2	必修	C	4単位
研究演習科目	人間栄養特殊研究	1～2	必修	B	12単位
			合計	30単位	
修了要件					

※各科目の開講時期（春期・秋期）は未定

※授業方法 A：講義、B：演習、C：実験・実習

※年度によって不開講の科目もある。

〈臨床栄養師に関する科目〉

臨床栄養師必修科目として臨床栄養師講座（1～2年配当）を設けている。

20. 授業科目とその講義等の概要

(専任教員の紹介は、専攻案内リーフレット参照)

共通科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
人間科学研究方法論	坂田浩之教授 井尻吉信教授 川野佐江子教授	本科目においては、人間科学研究科の3つの専攻、すなわち、①現代社会における心の問題に関する教育研究を行う臨床心理学専攻、②現代社会における食の産業と健康に関する教育研究を行う人間栄養学専攻、および、③現代社会における身体と身体美、および身体によそおいに関する教育研究を行う化粧ファッション学専攻の教員が、各専攻に固有の学問的方法論とこれまでの成果、ならびに最新の知見を検証することによって、研究科共通の目的「生活の質の向上」に資する人材養成の機能を促進させる。
研究基礎科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
人間栄養学研究	井尻吉信教授 一條知昭教授 木村雅浩教授 鈴木朋子教授 三善陽子教授 稲垣秀一郎准教授 角谷雄哉准教授	食物栄養学の知識を、人間の心身の健全な発育・成長と疾病予防に活用する為に、人間を中心に置いて、食物と生体との関わりを総合科学的に学ぶ事の意義について理解する。現代社会が直面しつつある「食」と「健康」に係わる課題についてオムニバス方式で問題提起し、人間栄養学研究の視点と方向性を習得する。併せて、本課程が包括する人間栄養学の応用・実践に向けての方向性を医療・食品・保健の視点からそれぞれ教示し、履修動機を高める。
研究展開科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
栄養化学研究	木村雅浩教授	生体内でおこる主要な代謝過程には、グリコーゲンの合成分解、解糖系、糖新生、脂肪酸の合成分解、TCA回路、ケトン体合成、尿素合成などがある。これらの代謝過程について最低限知っておくことは、以下の3点である。 ①どの臓器で活発に行なわれる代謝であるか、②いつ(どのような栄養状態)で活発におこなわれるのか、③どのようにコントロールされ、臓器間で協調しておこなわれているのか、である。これを目的に、飢餓-摂食サイクルについて講義し、演習問題を通して考え方を伝えたい。
運動生理学研究	武田ひとみ講師	運動時の生理機能の反応や運動習慣を継続することによる身体構造や生理機能の変化、ライフサイクルや心身両面における運動の影響を十分理解することは人間の健康を考える上で非常に重要である。これらの知識を栄養、食品に関する知識とうまくリンクさせて全人的な見地に立って健康指導や健康問題を研究する力をつけさせたい。
調理科学研究	菊田千景准教授	調理には、食品の栄養・安全性・嗜好性を高めるという役割がある。本講義では、食品自体が持つ特徴が、調理によりどのような化学的変化や物理的変化、相互作用を受けて栄養・安全性・嗜好性が高まるのか、その理論を学ぶ。また、調理・加工された食品の成分や嗜好性の評価方法、調理をより効果的に活用するための方法について、関連論文等を読み理解を深める。

食品プロセス学研究	稲垣 秀一郎 准教授	食品の加工は、時代によりその目的の変遷が見られており、古来には自然界に存在する動植物を摂取可能な状態にすることや、保存性の向上が主な目的であったが、近年ではより利便性を追求するためのものや、さらには機能性を付与させるための加工も行われている。本講義では、食品加工の歴史や目的、手法を学び、現代において求められる食品加工の重要課題に焦点をあてる。また、食品加工と機能性に関わる論文を抄読し、議論することで、結果の解釈や方法論を理解するための力を身につける。
食品衛生・微生物学研究	一條 知昭 教授	食品の衛生微生物学的な安全性の確保のためには、科学的知見にもとづいた衛生管理が必須である。このことは、私たちが健康な生活を営むうえでの基盤となる。コッホやパスツールの時代から100年以上続く培養を基本とした微生物学が、近年の技術の進歩とともに大きく変わろうとしており、従来とは異なる視点での微生物管理が可能となりつつある。そこで本講義では、いま過渡期を迎えている微生物学を概説するとともに、研究論文の抄読を通じて国内外の現状の理解をめざしていく。
臨床栄養発育学研究	三善 陽子 教授	小児の健全な発育には適切な栄養摂取が必須である。小児の成長発育の基本について学ぶと共に、低身長・肥満・やせを含む成長に関わる疾患の病態について理解を深める。また、現在国民の二人に一人が生涯のうちに「がん」に罹患する時代であることから、がんの治療が終了したサバイバーの健康問題や、小児期から成人期への移行期医療の問題についても理解を深めていく。
応用栄養学研究	角谷 雄哉 准教授	本科目では、応用栄養学の中でも、「身体活動が活発な者の競技力を向上させるためには、何をどれだけ食べればよいのか?」、「身体活動が活発な者における健康障害の回避のためには、何をどれだけ食べればよいのか?」といった疑問の解明を目指す運動栄養学・スポーツ栄養学を中心に扱います。競技選手を含め、身体活動が活発な者の競技力向上や健康の保持・増進を目的とした栄養管理・栄養サポートを実践するために必要な理論や技術を、学術論文や食事摂取基準を含めた各種ガイドラインを通じて学びます。
栄養教育学研究	鈴木 朋子 教授	食行動をはじめとした人々の健康行動は、日常生活の繰り返しのなかで習慣化される。疾病の一次・二次予防を促進するには、人々が健康的な生活習慣を実践し、不健康な習慣を健康的な方向へと修正する必要がある。そこで本科目では、対象者に応じた栄養教育プログラムを総合的にマネジメントするために必要な知見を多角的に深めていくこととする。実践事例等を交えながら、アセスメント、計画、実施、評価・フィードバックの各段階について、その理論的基礎について考察する。
給食経営管理学研究	赤尾 正 准教授	給食は、特定集団を対象にした栄養管理の実施プロセスにおいて食事を提供すること及び提供する食事のことと定義されている。給食現場において求められる、健康・栄養状態の維持・改善・向上やQOL向上の実践を目標とし、利用者の特性をふまえた適切な対応を行うための幅広い知識、技術、マネジメント・経営スキル（経営、会計・原価、組織）を学び、経営資源（人・物・金・情報など）の活用方法について事例を通して理解を深める。
臨床栄養管理学研究	井尻 吉信 教授	糖尿病、高血圧症、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の概要とそれらの疾患別栄養食事療法の実際について学ぶ。さらに、患者タイプ別の栄養食事指導方法についても概説し、患者を想定した模擬栄養指導を行った後にディスカッションを行う。

研究実習科目

授業科目名	担当者	講義等の概要
人間栄養実践研究	井 尻 吉 信 教授 一 條 知 昭 教授 木 村 雅 浩 教授 鈴 木 朋 子 教授 三 善 陽 子 教授 稲 垣 秀一郎 准教授 角 谷 雄 哉 准教授	<p>1年～2年次の実践研究に向けて、学生の就業希望先を想定した医療・食品・保健の分野より実習先の希望調査を行ない、その希望から実践的な学習の場を設定する事により、学部教育、さらには大学院1年次に修得した知識を、実社会の現場で活かし得る技能・態度を身に付けさせる。現場のスタッフと本学教員スタッフと協働により、適宜実習報告書を提出させ、実習教育内容の確認・充実を図る。</p> <p>また、課題研究は、本実習と関連付けるため、実習先での業務全般及び実習業務につき、資料収集・分析等を行ない、適宜研究会等を開催し、教育効果の向上及び研究内容の充実を図る。</p>

研究演習科目

授業科目名	担当者	講義等の概要
人間栄養特殊研究	井 尻 吉 信 教授 一 條 知 昭 教授 木 村 雅 浩 教授 鈴 木 朋 子 教授 三 善 陽 子 教授 稲 垣 秀一郎 准教授 角 谷 雄 哉 准教授	(詳細：P.14～15)

